

PLAN	No.	8	—	1	基本事務事業名	犬の登録・狂犬病予防事業	事務事業名	犬の登録・狂犬病予防事業	公的関与	1	シート作成日	平成29年6月30日		
	部局名	市民部			課名	環境衛生課	主務課長名	森友 邦明		シート作成者名	正木 和磨			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		2. 安全・安心のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1) 保健・医療の充実				☐ 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		☒ 期間設定なし		
		主要施策		(5) 精神保健・感染症対策の推進				☒ 2 非該当		根拠法令等		狂犬病予防法		
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		犬の飼い主										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	現在の飼い犬の登録・移動・死亡・狂犬病予防対策の円滑な実施を目的とします。									
				今年度	現在の飼い犬の登録・移動・死亡・狂犬病予防対策の円滑な実施を目的とします。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 犬の新規登録													
	② 犬の死亡・移動													
	③ 犬の狂犬病予防注射の実施													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標				
	接種率	注射実施頭数/登録頭数		%	目標		100	100	100					
					実績		54	53						
	予防注射の広報啓発	接種率の向上		回	目標		2	2	2					
					実績		2	2						
						目標								
						実績								
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	5	環境衛生費
			平成 27 年度決算			平成 28 年度決算			平成 29 年度予算			備考		
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円			
		県支出金			千円			29 千円			30 千円			
		地方債			92 千円			千円			千円			
		その他特定財源			1,204 千円			1,243 千円			1,216 千円			
		一般財源			千円			千円			千円			
		計(A)			1,296 千円			1,272 千円			1,246 千円			
	人件費(B)	正職員工数・経費	人	0	千円	人	0	千円	0.500 人	2,965	千円			
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	人	0	千円	人	0	千円	人	0	千円			
	全体事業費(A+B)				1,296 千円			1,272 千円			4,211 千円			

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	狂犬病予防法施工規則で定められているので必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	狂犬病予防法施工規則で定められています。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	予防注射接種率については、前年度同様の数値になっております。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	狂犬病予防法施工規則で定められているので他の実施主体等の制度は活用出来ません。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	3	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	未登録の犬がいるので、登録し予防接種を受けてもらいます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	全飼い主に広報等で周知し、狂犬病予防接種100%を目指します。					未登録犬の把握に努め、飼い主の意識を高めるよう、広報手段等の工夫が必要です。				
委員会指摘事項											

PLAN	No.	8	—	2	基本事務事業名	墓地管理事業	事務事業名	墓地管理事業	公的関与	5	シート作成日	平成29年7月3日		
	部局名	市民部			課名	環境衛生課	主務課長名	森友 邦明	シート作成者名	野上 芳幸				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(4) 廃棄物処理等環境衛生対策の充実				☒ 1 該当		平成 年	～	平成 年	☒ 期間設定なし	
		主要施策		(5) 市営墓地の適正管理				☐ 2 非該当		根拠法令等	墓地埋葬法、阿波市墓地設置及び管理条例			
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市有墓地及び個人墓地											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	市有墓地の適正管理を図ります。										
			今年度											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 市営墓地の使用許可申請に基づき、現地確認後に許可証の交付													
	② 改葬許可申請に基づき許可証の交付													
	③ 市営墓地の維持管理													
	④ 墓地・納骨堂及び火葬場の経営許可													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名	計算式又は指標設定理由	単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標						
		管理のため指標設定は馴染まない。		目標										
				実績										
				目標										
				実績										
				目標										
			実績											
DO	予算費目	会 計	款			4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	5	環境衛生費	
			平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金	千円	千円	千円	①墓地の擁壁の修繕工事を予定								
		県支出金	千円	千円	千円									
		地方債	千円	千円	千円									
		その他特定財源	千円	千円	千円									
		一般財源	3,358 千円	3,820 千円	3,500 千円									
		計(A)	3,358 千円	3,820 千円	3,500 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	7.000 人	40,664 千円	7.000 人	40,735 千円	0.500 人	2,965 千円						
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		44,022 千円		44,555 千円		6,465 千円							

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	市有墓地に対する市民のニーズは増えており、有効な管理運営が求められています。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☒ ある	☐ ない		☒ ある	☐ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	市内には街中から山間部に至るまで178箇所もの墓地が点在している。そのため、全体を把握した上で整備の優先順位を付けていくことも必要です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	現状維持管理のみにとどまっています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☒ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☐ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	社会情勢等による墓の無縁化が墓地行政の課題である。将来は、各町に有料墓地(管理料徴収方式)の整備を検討していく必要があります。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☒ ある	☐ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		3	4	3	3	A	3	4	3	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	市営墓地(有料・無料)の墓床の数も少なくなっており、墓地の有効的な活用及び管理運営が急務となっています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	必要に応じて、無縁墳墓の改葬あるいは有料墓地の造成を検討していきます。					古く受け継がれ、個所数も多く、墓地の維持管理は難しくなっていますが、概要の把握に努め、住民の意向を把握しながら適正な対応を行ってください。				
	委員会指摘事項										

PLAN	No.	8	—	3	基本事務事業名	公共施設動物死体処理事務	事務事業名	公共施設動物死体処理事務	公的関与	1	シート作成日	平成29年6月30日		
	部局名	市民部			課名	環境衛生課	主務課長名	森友 邦明		シート作成者名	正木 和磨			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(4) 廃棄物処理等環境衛生対策の充実				☐ 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		☐ 期間設定なし		
		主要施策		(1) ごみ収集・処理体制の充実				☒ 2 非該当		根拠法令等		廃棄物の処理及び清掃に関する法律		
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		道路等の動物の死体										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	道路等の動物の死体を収集し、処分をすることにより快適な生活環境を確保します。									
				今年度	道路等の動物の死体を収集し、処分をすることにより快適な生活環境を確保します。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 動物の死体の収集運搬													
	② 動物の死体の処分													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標				
	処理件数(実績値)				件	目標								
						実績	351	420						
						目標								
						実績								
						目標								
DO	予算費目	会 計	款				項			目				
			平成 27 年度決算	平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円							
		県支出金	6,532 千円		7,092 千円		6,980 千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	4,692 千円		千円		千円							
		一般財源	千円		4,692 千円		4,692 千円							
		計(A)	11,224 千円		11,784 千円		11,672 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	581 千円	0.100 人	582 千円	0.100 人	593 千円						
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		11,805 千円		12,366 千円		12,265 千円							

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	動物の死体の処理は、保健衛生上からも、素早く回収する必要があります。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	動物の死体は不衛生なため、早急に除去を願うものであります。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	動物を飼育する市民も増え、脱走などによる事故死も増えている中、市民からの通報に遅滞なく対応できています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	業者委託により迅速な対応をしています。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	市民からの通報がない場合、迅速に対応ができません。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	動物の死骸処理は、早急に回収する必要があるため、業者委託により迅速に行います。					動物の死骸処理は、早急に回収する必要があるため、業者委託により迅速に行います。				
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	4	基本事務事業名	地球温暖化対策事務	事務事業名	地球温暖化対策事務	公的関与	1	シート作成日	平成29年7月3日		
	部局名	市民部			課名	環境衛生課	主務課長名	森友 邦明		シート作成者名	野上 芳幸			
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(1) 環境の保全と創造				☒ 1 該当		平成 25 年 ~ 平成 30 年 ☐ 期間設定なし				
		主要施策		(1) 地域環境総合計画(環境基本計画)の策定				☐ 2 非該当		根拠法令等 地球温暖化対策の推進に関する法律 第20条の3				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		省エネ法「特定事業者」及び温対法の「特定排出者」である阿波市は、事業の対象者として毎年度排出量の調査の結果を国・県に報告すると共に、市は低炭素型社会に向けて地球温暖化対策の推進に取り組みます。										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	行政職員の率先行動により二酸化炭素ガスの排出量を基本年度に対して2.1%削減し、経費の節減等地球温暖化対策の推進を図ります。									
				今年度	平成27年度のエネルギーの使用量に応じて、各施設の課題に職員が率先して取り組み、本市の実行計画達成に取り組んでいきます。									
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 各施設の職員はソフト的取組実施を必須項目として設定しCO2の削減に取り組みます。													
	② 市は、今後の建設計画や設備更新計画に新エネ・省エネ機器の導入を検討します。													
	③ 担当は調査分析の結果を掲示し、関係施設は課題事項に積極的に取り組みます。													
	④ 調査結果を公表し、市民に対し施設利用節電、節水の意識啓発を図ります。													
	⑤ 住宅用太陽光発電設置の補助金交付を実施します。													
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標				
	温室効果ガス削減目標		温室効果ガス排出量		1	目標	6435	6435	6435	6435				
						実績	6447							
						目標								
						実績								
						目標								
						実績								
DO	予算費目	会 計				款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	5	環境衛生費
			平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考					
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円		①実況調査・分析業務業務委託費 ②住宅用太陽光発電システム導入補助金					
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	33,781 千円		33,434 千円		3,804 千円							
		計(A)	33,781 千円		33,434 千円		3,804 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	2,905 千円	0.500 人	2,910 千円	0.500 人	2,965 千円						
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		36,686 千円		36,344 千円		6,769 千円							

阿波市全庁評価シート 平成28年度実施事業対象

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	調査は国・県への報告が法律で定められており、実行計画の策定は必要です。類似施策がなく毎年度必要であり又、市民向け個人住宅用太陽光発電システムの補助金は、地球温暖化防止策としても、省エネルギー推進にも必要と思います。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	全公共施設の調査は作業負担が大きいです。本市の調査は各施設の分析を行っており、各課が課題に取り組むには有効です。また市民への住宅用太陽光発電システム導入補助金は、低炭素型社会を目指す地球温暖化対策に有効です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	平成28年度実績では削減目標設定にせまる数値となっており、新庁舎への部署集約による成果と思われます。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	阿波市環境基本計画の策定に必要な情報集に活用でき、又、市役所の関係部署のみならず、阿波市地域一帯の地球温暖化対策に広げていくことができる。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒ できる	☐ できない		☒ できる	☐ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	今後の方向性	4	4	4	3	A	4	4	4	3	A
		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		
	当面の課題	温室効果ガスの換算に用いる電力排出係数は、毎年度変動しますが、現在の第2次実行計画(H26～H30年度)は東日本大震災の影響により、発電による温室効果ガスの発生率が上がったため、第1次実行計画(H20～H25年度)に比べ格段に上がりました。 よって、電気の使用量の削減が、目標達成に必要不可欠となっております。				二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
	改革案と実行計画	今年度は阿波市環境基本計画の策定のための準備作業としています。平成29年度末での阿波市環境基本計画策定に向けた取り組みのためにも十分な調査が必要です。				地道な作業ですが、将来の受け継ぐ重要な問題であり、地球温暖化対策の必要性等、職員の意識高揚に尚努めて下さい。					
	委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	5	基本事務事業名	飲料水供給	事務事業名	飲料水供給事務	公的関与	1	シート作成日	平成29年7月7日		
	部局名	市民部			課名	環境衛生課	主務課長名	森友 邦明		シート作成者名	古谷 昌寛			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)					3. 美しい環境のまちづくり		実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)					(2) 水道の整備		☒ 1 該当		平成 年	～	平成 年	☒ 期間設定なし
		主要施策					(2) 安心・快適な給水の確保		☐ 2 非該当		根拠法令等	水道法、市飲料水供給施設の設置に関する条例		
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市内飲料水供給施設(5カ所)										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	安全でおいしい水の安定供給									
				今年度	5つのうち4カ所は施設の老朽化が進み、必要に応じて修繕を行っていききたい。また、別事業(福祉施策)において、新たに水道施設整備を行う。									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 施設の維持管理													
	② 水質管理													
	③ 水の安定供給													
	④ 補助金交付要綱の整備													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標				
	点検回数		水源ほか施設状況確認		回/月		目標 12	12	20					
							実績 12	20						
							目標							
							実績							
							目標							
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	8	飲料水供給施設費
			平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考					
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円							
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	1,408 千円		855 千円		21,298 千円							
		計(A)	1,408 千円		855 千円		21,298 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.160 人	929 千円	0.160 人	931 千円	0.700 人	4,151 千円						
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		2,337 千円		1,786 千円		25,449 千円							

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	生活を営む上で欠かすことはできません。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	給水戸数減少に伴い、老朽化した施設を維持管理するにも受益者に高負担とならないよう補助金交付要綱の内容を見直します。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	引き続き事業を継続していく必要があります。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☒ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☐ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☒ 高い	☐ 適当	効率性から考えれば厳しいが生活水は欠かすことが出来ません。	☒ 高い	☐ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☒ ある	☐ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	3	3	A	4	4	3	2	B
	今後の方向性	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	過疎による高齢化・施設老朽化等により管理運営が厳しくなっています。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	安全でおいしい水の安定供給を目指します。					各施設とも加入戸数の減少により、維持管理が難しくなっていますが、衛生上からも必要な事業です。指定管理がされていない施設については、引き続き委託を検討してください。				
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	6	基本事務事業名	ごみ関係広報啓発事務	事務事業名	ごみ収集カレンダー作成事務	公的関与	3	シート作成日	平成29年7月7日			
	部局名	市民部			課名	環境衛生課	主務課長名	森友 邦明		シート作成者名	原田 昂				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4) 廃棄物処理等環境衛生対策の充実				☐ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(1) ごみ収集・処理体制の充実				☒ 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	ごみカレンダーの紛失が出来るだけ少なくなるように呼びかけます。また、ごみの出し方(分類)がわかりやすくなるように内容を検討していきます。さらに、ごみの出し方だけでなく、減量化・リサイクルについても広報誌やCATVでも今年度と同様に啓発していきます。											
			今年度	ごみカレンダーの紛失が出来るだけ少なくなるように呼びかけます。											
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① ごみカレンダーの作成														
	② ごみカレンダーの配布														
	③ ごみの減量化・リサイクルに関する啓発														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標					
	ごみカレンダー作成枚数		必要数の把握		枚	目標									
						実績	16,660	16400							
	ごみカレンダー印刷製本費		費用の把握		円	目標									
						実績	287,884	287,820							
	ごみカレンダー配布手数料		費用の把握		円	目標									
					実績	372,060	372,870								
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	1	清掃総務費
			平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	660 千円		661 千円		803 千円								
		計(A)	660 千円		661 千円		803 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.210 人	1,220 千円	0.210 人	1,222 千円	0.210 人	1,245 千円							
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		1,880 千円		1,883 千円		2,048 千円								

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	財政状況が厳しいとはいえ、住民生活において必須のものと考えられ、今後も引き続き必要である。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☒ ある	☐ ない		☒ ある	☐ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	カレンダーや広報誌によって、ごみの出し方が周知され、収集までの流れがスムーズに行われており、非常に有効です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	年々試行錯誤を重ね改良してきたことによって現状における最適な状態であると思われます。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☒ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☐ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	印刷に係るコスト削減は最大限まで行ってきたので、今後は住民に配布されたカレンダーを出来るだけ紛失しないよう周知し、発行部数を削減しコストの削減を目指します。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☒ ある	☐ ない		☒ ある	☐ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		3	4	3	3	A	3	4	3	3	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	コスト面で大部分を占めるごみカレンダー配布に係る費用の削減が重要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	原材料費など印刷に係る費用はかなり抑えられているので、ある程度の品質を保ちながら利用しやすいものを作るためにはこれ以上のコスト削減は難しく今後は部数を減らすことにより費用の削減を目指します。					広報・パンフレット等配布により啓発を図ることにより、市民にごみの適正排出の重要性についてはそのことが地域環境保全について貢献しているを理解していただくよう、今後も尚一層の啓発及び指導に努めて下さい。 広告封筒と同様に、広告ごみ袋を考えてみてください。 カレンダーの配布方法も検討する必要があるように思います。				
	委員会指摘事項										

PLAN	No.	8	—	8	基本事務事業名	生ごみ処理機購入補助金	事務事業名	生ごみ処理機購入補助金	公的関与	3	シート作成日	平成29年7月3日		
	部局名	市民部			課名	環境衛生課	主務課長名	森友 邦明		シート作成者名	正木 和磨			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(4) 廃棄物処理等環境衛生対策の充実				☒ 1 該当		平成 17 年 ~ 平成 年		☒ 期間設定なし		
		主要施策		(2) 3R運動の促進				☐ 2 非該当		根拠法令等				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)	阿波市内に住所を有するものが居宅に設置する電気式生ごみ処理機及びその購入者											
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	阿波市内における生ごみの減量化及び資源化を図ります。										
			今年度	申請に基づき予算の範囲内で推進します。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 交付申請に基づき審査し、交付決定後補助金を交付します。													
	② 広報やホームページに事業内容の掲載をすることで、市民への周知を図ります。													
	③													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標				
	生ごみ処理設置数		予定設置数		機	目標	10	10	10					
						実績	5	9						
						目標								
						実績								
						目標								
実績														
DO	予算費目	会 計	一般会計				款		項		目			
			平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考					
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円							
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	108 千円		249 千円		300 千円							
		計(A)	108 千円		249 千円		300 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.260 人	1,510 千円	0.260 人	1,513 千円	0.260 人	1,542 千円						
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
全体事業費(A+B)		1,618 千円		1,762 千円		1,842 千円								

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	生ごみ処理機を使用することによって、使用家庭の生ごみの量は確実に減少するため、阿波市における生ごみの減量化及び資源化を図るには有効です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	ごみの減量化に非常に有効であるため、多くの家庭に普及する必要があります。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	補助金の申請件数があまり増加していないので、広報活動により引き続き事業の周知の必要があります。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	少しずつでも普及することにより確実にごみの減量化へつながるため、事業効果はたかいです。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 4	有効性 4	達成度 3	効率性 4	総合評価 A	必要性 4	有効性 4	達成度 4	効率性 4	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		
	当面の課題	生ごみ処理機の補助金申請数は減少傾向にあるので、継続して広報活動等で補助金制度の周知を行い、申請者に補助金を交付します。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	ごみの減量化と資源化を図るため、予算の範囲内で計画的に推進します。					ごみの減量化には、本事業は有効ですが、申請件数が減少傾向にあります。市民ニーズを把握し、他の処理方法等又、支援事業についても検討してください。				
	委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	8	基本事務事業名	ゴミ袋に関する事務	事務事業名	ゴミ袋に関する事務	公的関与	3	シート作成日	平成29年7月7日			
	部局名	市民部			課名	環境衛生課	主務課長名	森友 邦明			シート作成者名	古谷 昌寛			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(3) 下水道の整備				☒ 1 該当		平成 年 ~ 平成 年	☒ 期間設定なし				
		主要施策		(2) 下水道事業の計画的推進				☐ 2 非該当		根拠法令等	浄化槽法、下水道法、水濁法、瀬戸内法				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市指定ゴミ袋											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	必要量に対するゴミ袋の確保										
				今年度	必要量に応じてゴミ袋を供給します。また、ゴミ袋大については、従来の「平袋型」と並行して「レジ袋」を採用します。										
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 市指定ゴミ袋の発注と購入														
	② 取扱販売店への販売														
	③ 販売手数料の支払事務														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的 及び活動内容 の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標					
	ゴミ袋発注枚数		1年ごとの必要枚数を把握するため		枚	目標			1,300,000						
						実績	1,200,000	1,400,000							
	ゴミ袋等販売手数料		ゴミ袋提供に係る必要経費の把握		円	目標									
						実績	6,828,450	6,819,350							
	ゴミ袋等購入代金		ゴミ袋等購入費用の把握		円	目標									
						実績	9,319,240	9,712,710							
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	5	環境衛生費
			平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円								
		県支出金	千円		千円		千円								
		地方債	千円		千円		千円								
		その他特定財源	千円		千円		千円								
		一般財源	16,147 千円		16,533 千円		20,348 千円								
		計(A)	16,147 千円		16,533 千円		20,348 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.140 人	813 千円	0.140 人	815 千円	0.140 人	830 千円							
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		16,960 千円		17,348 千円		21,178 千円								

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	社会通念上、ゴミ袋は生活するうえで欠かすことはできません。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	社会生活の中で重要度は高く、非常に有効なものです。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	指定ゴミ袋等をお買い求めいただくことで、ゴミを処分するための費用の一部を負担したという自覚と少しでも減量化に努めたいという意識が備わる効果は大きいと考えます。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☒ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☐ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	近隣市町とも情報交換しながら、引き続きコスト削減できるよう検討してまいります。	☒ 高い	☐ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☒ ある	☐ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	3	2	B
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	ゴミの減量化に努めます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	ゴミ袋の単価は、その年々の原油相場で大きく変動するものであり、避けるにも避けられないことがあります。一案として取扱販売店への販売手数料(1枚/5円)を下げることへの検討も考えていく必要があります。					ごみ袋の購入は、入札より適正かつ効率的に行われています。今後、広告入封筒のような広告入ごみ袋の導入について検討して下さい。				
	委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	9	基本事務事業名	ごみステーション	事務事業名	ごみステーション	公的関与	3	シート作成日	平成29年7月7日		
	部局名	市民部			課名	環境衛生課	主務課長名	森友 邦明		シート作成者名	原田 昂			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☒ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(4) 廃棄物処理等環境衛生対策の充実				☒ 1 該当		平成 年	～	平成 年	☒ 期間設定なし	
		主要施策		(1) ごみ収集・処理体制の充実				☐ 2 非該当		根拠法令等	阿波市地域ゴミステーション施設整備事業助成要綱			
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		ごみステーション										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	ごみステーションを自治会に管理してもらうことにより、ごみへの意識づくりをしてもらうとともに美しいまちづくりを目指します。									
				今年度	ごみステーションの新設及び修繕要望に対し、要綱に基づき原材料費を支給します。									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① ごみステーションの新設及び修繕等に伴う助成申請の受付事務。													
	② 現場確認。													
	③ ごみステーションへのごみ箱等の設置。													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標				
	ごみステーション設置数		必要数を把握するため		箇所	目標								
						実績	694	694						
	ごみステーション修繕件数		必要数を把握するため		件	目標								
						実績	41	57						
	ごみステーション新設件数		必要数を把握するため		件	目標								
DO	予算費目		会 計	一般会計			款		項		目			
			平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考					
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円							
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	1,188 千円		1,054 千円		1,850 千円							
		計(A)	1,188 千円		1,054 千円		1,850 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	581 千円	0.100 人	582 千円	0.100 人	593 千円						
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		1,769 千円		1,636 千円		2,443 千円							

チェック項目		一次評価		一次評価の説明	二次評価						
必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	ごみステーションの必要性を考えると廃止することはできません。	☐ 少ない	☒ 大きい					
	2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある					
	3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☒ ある	☐ ない		☒ ある	☐ ない					
	4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない					
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	有効性は十分ですが、要綱改正の検討によりCSの向上が見込める可能性があります。	☐ いえない	☒ いえる					
	2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる					
	3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない					
	4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる					
達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	申請に対して発生する事務のため、目標の設定は困難です。	☐ 目標に比べて劣っている							
	2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない							
	3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している							
	4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している							
効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	原材料費のみ支給しているためこれ以上のコスト削減は困難です。	☐ 高い	☒ 適当					
	2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒ できる	☐ できない		☒ できる	☐ できない					
	3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☒ ある	☐ ない		☐ ある	☒ ない					
	4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない					
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性 3	有効性 4	達成度 3	効率性 2	総合評価 B	必要性 3	有効性 4	達成度 4	効率性 3	総合評価 A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	この助成を知らない人もいるようなので、広報などで市民に周知するのがベストだと思うが、予算がかなり少ないために申請が多い場合に対応しきれなくなるとい課題があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	予算の関係で広く周知すべきかという部分と住民からの要望として多かった助成内容について検討する必要があります。現在の助成は原材料費のみに限られているので、手数料などその他にかかる費用も助成対象として盛り込んでほしいという意見への対応も考えていかなければなりません。					ステーション方式による家庭ごみの収集方法は、市民に定着しており有効な手段です。ステーション修繕の原材料費、収納器材などについては、ニーズを把握し、年次計画的な予算措置が必要です。				
	委員会指摘事項										

PLAN	No.	8	—	10	基本事務事業名	資源ごみ収集事務		事務事業名	資源ごみ収集事務		公的関与	3	シート作成日	平成29年7月7日				
	部局名	市民部			課名	環境衛生課		主務課長名	森友 邦明		シート作成者名	原田 昂						
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託							
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等							
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了								
		基本計画(施策)		(4) 廃棄物処理等環境衛生対策の充実				☒ 1 該当		平成		年	～	平成		年	☒ 期間設定なし	
		主要施策		(1) ごみ収集・処理体制の充実				☐ 2 非該当		根拠法令等		阿波市廃棄物の処理及び清掃に関する条例						
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民															
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	3R運動(リデュース:発生抑制、リユース:再使用、リサイクル:再生利用)を促進し、ごみの減量化とごみを出さない生活様式を確立し、更に資源ごみを有効利用し、地球にやさしいリサイクル社会を構築します。														
			今年度															
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																	
	① 資源ごみ(缶・ビン・ペットボトル)の収集運搬を阿波・市場は直営で行い、土成・吉野は委託業者により行います。																	
	② 資源ごみ(新聞・雑誌・段ボール・紙パック)は各4地区で月1回拠点回収を行います。																	
	③ 回収された資源ごみは、各品目からさらに仕分けを行います。																	
	④																	
	⑤																	
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標								
	資源ごみ収集量				t	目標												
						実績	600	678										
	資源ごみ収集委託業社				社	目標												
						実績	4	4										
	資源ごみ分別に係る時間				時間	目標												
DO						実績	11058	11107										
	予算費目	会 計	一般会計			款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費				
			平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考									
	直接事業費	国庫支出金			千円		千円		千円									
		県支出金			千円		千円		千円									
		地方債			千円		千円		千円									
		その他特定財源			千円		千円		千円									
		一般財源	9,918 千円			10,042 千円		10,282 千円										
		計(A)	9,918 千円			10,042 千円		10,282 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	2,905 千円	0.500 人	2,910 千円	0.500 人	2,965 千円										
		臨時・嘱託職種																
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円										
	全体事業費(A+B)		12,823 千円		12,952 千円		13,247 千円											

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	地球環境を考えたごみ施策のなかでも資源ごみ収集・リサイクルは大きな役割を占めており市民生活に必要になります。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☒ ある	☐ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	市民自らがごみ分別の徹底に取り組む中で、市民それぞれがリサイクルに対する意識の向上が図られてきており有効であると思われます。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	市が3R運動を積極的に推進することによりごみ量の削減と環境保全のため啓発・指導を図ることにより成果の向上が見込まれます。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☒ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	適正・効率的なごみ収集運搬体制を構築し継続的に事業を実施していきます。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒ できる	☐ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☒ ある	☐ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		3	4	2	2	B	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	循環型社会確立のため資源ごみに分別収集の必要性について自治会等を通じて広報・啓発を行う必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	コスト面だけにとらわれず市民への利便性を考慮しながら、引き続き効率的な資源ごみ収集を進めるべきと思われます。					市民に対し、循環型社会の実現の重要性について、根気よく広報・啓発を続けて下さい。				
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	11	基本事務事業名	家庭ごみ収集事務		事務事業名	家庭ごみ収集事務		公的関与	3	シート作成日	平成29年7月7日			
	部局名	市民部			課名	環境衛生課		主務課長名	森友 邦明		シート作成者名	原田 昂					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託						
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(4) 廃棄物処理等環境衛生対策の充実				☐ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし		
		主要施策		(1) ごみ収集・処理体制の充実				☒ 2 非該当		根拠法令等		阿波市廃棄物の処理及び清掃に関する条例					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民														
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	一般廃棄物(家庭ごみ)の排出を抑制するとともに、一般廃棄物の適正な分別・処理を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ります。													
			今年度														
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	① 家庭ごみ(可燃ごみ)の収集運搬を阿波市・市場町は直営で行い、土成・吉野は委託業者により行う。																
	② 家庭ごみ(可燃ごみ)は毎月・毎週2回(月曜日・木曜日)各ステーションで回収を行う。																
	③ ごみ分別収集のチラシや市広報誌等により啓発を実施する。																
	④ 市民の環境保全意識の高揚に努め市民との協働のもと、不法投棄の監視・指導体制を強化する。																
	⑤																
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標							
	家庭ごみ収集量				t	目標											
						実績	3046										
	家庭ごみ収集委託業者				社	目標											
						実績	3	3									
						目標											
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費		
			平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考								
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円						
		県支出金			千円			千円			千円						
		地方債			千円			千円			千円						
		その他特定財源			千円			千円			千円						
		一般財源	67,111		千円	67,111		千円	78,858		千円						
		計(A)	67,111		千円	67,111		千円	78,858		千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	3.650	人	21,203	千円	3.650	人	21,240	千円	3.650	人	21,644	千円			
		臨時・嘱託職種	塵芥作業員				塵芥作業員				塵芥作業員						
		臨時・嘱託工数・経費	10.100	人	22,442	千円	10.100	人	22,442	千円	10.100	人	22,442	千円			
	全体事業費(A+B)		110,756		千円	110,793		千円	122,945		千円						

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	各家庭から排出される家庭系一般廃棄物のゴミ処理は市の責務であり、必要不可欠です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	家庭ごみ分別とごみ減量化の必要性を認識して頂き、ごみ減量化の促進を図る上で有効です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	ステーションへの分別搬入及び処理方法については一応成果が上がってきているが今後も循環型社会に向けた啓発を図ります。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	収集運搬業務については、直営と委託の2方式で行っており、地域の実情に即した方法であると思われます。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	ごみの出し方について、時間・曜日・品目を守れていないケースがよく見られます。周辺住民と協力し監視、指導を行っていく必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	ごみの適正な出し方を説明し、住民の理解と協力を得れるよう自治会へ働きかけます。					収集体制は各地域に定着していますが、適正な出し方や減量化の広報・啓発等の推進を図ってください。				
委員会指摘事項											

PLAN	No.	8	—	12	基本事務事業名	粗大ごみ収集事務	事務事業名	粗大ごみ収集事務	公的関与	3	シート作成日	平成29年7月7日			
	部局名	市民部			課名	環境衛生課	主務課長名	森友 邦明	シート作成者名	原田 昂					
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☒ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(4) 廃棄物処理等環境衛生対策の充実				☒ 1 該当		平成 年	～	平成 年	☒ 期間設定なし		
		主要施策		(1) ごみ収集・処理体制の充実				☐ 2 非該当		根拠法令等	阿波市廃棄物の処理及び清掃に関する条例				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)	市民												
		目的(どういう状態にしたいのか)	最終的	一般廃棄物(粗大ごみ)の排出を抑制するとともに、廃棄物の適正な分別・運搬・処理を行い、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図ります。											
			今年度												
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 粗大ごみの収集を阿波・市場・土成は各収集場所で行い、吉野町については委託業者により行う。														
	② 粗大ごみは市場(第一日曜日)、土成(第二日曜日)、吉野(第一・三金曜日)(第二・四金曜日)、阿波(第四日曜日)に各指定の場所で収集作業を実施。														
	③ ごみ分別収集のチラシや市広報誌等により啓発を実施。														
	④ 市民の環境保全意識の高揚に努め市民との協働のもと、不法投棄の監視・指導体制を強化する。														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標					
	粗大ごみ収集量				t	目標									
						実績	42	40							
	粗大ごみ収集委託業者				社	目標									
						実績	2	2							
						目標									
					実績										
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	2	塵芥処理費
			平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金			千円		千円		千円						
		県支出金			千円		千円		千円						
		地方債			千円		千円		千円						
		その他特定財源			千円		千円		千円						
		一般財源	1,132 千円			991 千円		1,296 千円							
		計(A)	1,132 千円			991 千円		1,296 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.700 人	9,875 千円	1.700 人	9,893 千円	1.700 人	10,081 千円							
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		11,007 千円		10,884 千円		11,377 千円								

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	一般廃棄物処理は自治体の固有業務であり、粗大ごみについても市は適正な処理を推進すべきものであります。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	自主的な3R運動を促進し、生活環境の保全に必要な事業であり、ごみを適正に収集することにより良好な環境づくりを促進します。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	広報啓発活動により排出量の抑制が図られており、また適正な収集運搬処理に取り組むことにより生活環境の保全と意識高揚が図られるよう努めます。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	リサイクル意識の向上と普及により市民のリユース(再利用)意識は高まりつつあるが、現状は発生抑制を図り、循環型社会の実現に向けた成果が発揮できると考えられます。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒ できる	☐ できない		☒ できる	☐ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☒ ある	☐ ない		☒ ある	☐ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	3	2	B	4	4	4	2	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	資源循環型社会構築に向け、市民意識の高揚を図り、一般廃棄物(粗大ごみ)の減量化・資源化を進める必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	今後、適正・効率的なごみ収集運搬処理体制を構築し継続的に事業を実施します。					減量化、資源化を行うために、啓発の普及が必要であります。検討してください。また、高齢者世帯の収集方法も考えてください。				
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	13	基本事務事業名	廃家電リサイクル処理事務		事務事業名	廃家電リサイクル処理事務		公的関与	3	シート作成日	平成29年7月7日			
	部局名	市民部			課名	環境衛生課			主務課長名	森友 邦明			シート作成者名	原田 昂			
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託						
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等						
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了							
		基本計画(施策)		(4) 廃棄物処理等環境衛生対策の充実				☐ 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		☒ 期間設定なし					
		主要施策		(1) ごみ収集・処理体制の充実				☒ 2 非該当		根拠法令等		家電リサイクル法					
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		廃家電4品目													
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	市民から搬入されるものと、不法投棄された分を適正に処理を行います。												
				今年度	不法投棄に関しては広報誌やCATV等で周知を行い啓発をおこないます。また不法投棄が多発している場所には看板を立てるなどの防止活動を行い処理数を削減します。												
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	① 処理方法に関する問い合わせへの対応。																
	② 住民から持ち込まれる分に対する受け取り。																
	③ 不法投棄分のリサイクル券の購入。																
	④ 各処理施設への搬入。																
	⑤																
数値目標 (事業の目的 及び活動内 容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標							
	不法投棄処理に伴うリサイクル券購入枚数		処理を行うため。		枚		目標										
							実績	71	51								
							目標										
							実績										
							目標										
DO	予算費目	会 計	一般会計				款	4 衛生費		項	2 清掃費		目	2 塵芥処理費			
			平成 27 年度決算				平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金			千円		千円		千円								
		県支出金			千円		千円		千円								
		地方債			千円		千円		千円								
		その他特定財源			千円		千円		千円								
		一般財源	232 千円		156 千円		258 千円										
		計(A)	232 千円		156 千円		258 千円										
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.160 人	929 千円		0.160 人	931 千円		0.160 人	949 千円							
		臨時・嘱託職種															
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円							
	全体事業費(A+B)		1,161 千円		1,087 千円		1,207 千円										

		チェック項目		一次評価		一次評価の説明		二次評価			
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	廃棄物処理として必要です。不法投棄の防止のため広く周知することが必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	市民生活での重要度が高いため非常に有効です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	随時発生する廃棄物なので、数値等の目標設定は出来ません。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	事業費としての部分だけでなく家電を搬出する前の分別作業や積み込みや処理施設への配送などにより人員・労力はかなり負担になります。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	不法投棄による廃家電を少なくすることと、処理方法の周知が課題です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	不法投棄により発生する量が大半を占めており、少しでも削減できるよう不法投棄防止の啓発を行います。					広報啓発により周知が図られ、理解が得られたと思われますが、今後においても不法投棄防止のために、広報啓発を継続してください。				
	委員会指摘事項										

阿波市全庁評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	14	基本事務事業名	浄化槽設置整備事業	事務事業名	浄化槽設置整備事業	公的関与	3	シート作成日	平成29年7月5日		
	部局名	市民部			課名	環境衛生課	主務課長名	森友 邦明		シート作成者名	坂本 成章			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(3) 下水道の整備				☒ 1 該当		平成 27 年 ~ 平成 31 年 ☐ 期間設定なし				
		主要施策		(2) 下水道事業の計画的推進				☐ 2 非該当		根拠法令等				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		阿波市全域(農業集落排水整備区域を除く)										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	阿波市全域(農業集落排水整備区域を除く)において、既存単独処理浄化槽及び汲み取り槽をすべて合併処理浄化槽に転換し、生活排水による公共用水域の水質汚濁を防止し、環境にやさしいまちづくりを目指します。									
				今年度	申請に基づき予算の範囲内で執行します。									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 交付申請に基づき補助対象区域及び終末排水路の有無を現地確認後に補助金交付決定の交付													
	② 補助金交付決定通知後に単独処理浄化槽または汲み取り槽の撤去の確認、合併処理浄化槽本体、埋設、配管路の現地確認													
	③ 実績報告書受理後に工事完了確認													
	④ 補助金交付額確定通知書を送付し、交付請求により補助金の交付													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標				
	浄化槽設置数		予定設置件数		基		目標	150	150	150				
							実績	112	93					
							目標							
							実績							
							目標							
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	3	浄化槽整備事業費
			平成 27 年度決算	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	備考								
	直接事業費	国庫支出金	10,663 千円		10,663 千円		8,530 千円							
		県支出金	6,922 千円		4,752 千円		6,344 千円							
		地方債	千円		千円		千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	24,486 千円		17,738 千円		31,990 千円							
		計(A)	42,071 千円		33,153 千円		46,864 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.000 人	5,809 千円	1.000 人	5,819 千円	1.000 人	5,930 千円						
		臨時・嘱託職種												
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		47,880 千円		38,972 千円		52,794 千円							

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	環境保全と快適な環境づくりに水質汚濁の防止は必要不可欠な事業です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	家庭からの排水改善には新築は別にして、既存の単独処理上カオスまたは汲み取り槽を合併処理浄化槽に設置替えることで改善を図ることができます。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	合併処理浄化槽の設置は40%弱しかできていないので転換の推進に努力しています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	公共下水道と比較しても低コストで設置でき、効率性も非常に高いです。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	4	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☒ 拡大・充実	☐ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	
		☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止			☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止		
	当面の課題	既存の単独処理浄化槽または汲み取り槽を合併処理浄化槽への設置替えを積極的に行い、合併処理浄化槽の普及率50%を目指します。 公共水域等の放流先がない場所についての対応策としては建設部、産業経済部と協力しながら進めていきます。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
改革案と実行計画	広報誌及びホームページを活用し、市民へ情報提供します。					水質汚濁防止の観点から有効な事業ですので、尚一層、広報啓発を行って下さい。					
委員会指摘事項											

PLAN	No.	8	—	15	基本事務事業名	公害・苦情・不法投棄等事務	事務事業名	公害・苦情・不法投棄等事務	公的関与	3	シート作成日	平成29年7月3日			
	部局名	市民部			課名	環境衛生課	主務課長名	森友 邦明		シート作成者名	正木 和磨				
	事業区分	☒ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託				
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等				
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了					
		基本計画(施策)		(1) 環境の保全と創造				☐ 1 該当		平成	年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策		(3) 公害等環境問題への適切な対応				☒ 2 非該当		根拠法令等					
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		雑草等の苦情及びごみの不法投棄											
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	会社(企業)及び市民に広報等による啓発活動を行い苦情がでないように環境保全に努めます。										
				今年度	関係機関と連携して、企業及び市民に広報等による啓発活動を行います。										
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)														
	① 市民からの通報により現場確認														
	② 各関係機関に連絡														
	③ 雑草については所有者に通知														
	④														
	⑤														
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標					
	苦情及び相談件数		申立件数		件	目標									
						実績	47	36							
						目標									
						実績									
						目標									
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	5	環境衛生費	
			平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考						
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円				
		県支出金			千円			千円			千円				
		地方債			千円			千円			千円				
		その他特定財源			千円			千円			千円				
		一般財源			千円			千円			千円				
		計(A)	0		千円	0		千円	0		千円				
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.700 人	4,066	千円	0.700 人	4,073	千円	0.700 人	4,151	千円				
		臨時・嘱託職種													
		臨時・嘱託工数・経費	人	0	千円	人	0	千円	人	0	千円				
	全体事業費(A+B)		4,066		千円	4,073		千円	4,151		千円				

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	自然環境保全のため必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	ごみ不法投棄及び雑草等の苦情が増加しているので処理しても後が絶たない状況です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☒ いえない	☐ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	ごみの不法投棄・雑草の苦情等が増加しています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☒ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	通報により現場確認をするので効率が悪いです。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒ できる	☐ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☒ ある	☐ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	3	2	2	B	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	行政関係機関及び市民からの通報等により現地確認を行い、早急な対応に努めます。なお、休日等の対応が必要です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	市民からの通報だけでなく、監視体制等の強化及び市民に対して環境保全に対する理解を深めてもらうため、広報等の充実に努めます。					不法投棄防止の住民意識を高めるための、広報等の取り組みを更に図ってください。				
委員会指摘事項											

PLAN	No.	8	—	16	基本事務事業名	公害(騒音・振動・悪臭・外来種・水質汚濁)一般事務			事務事業名	特定施設届出事務			公的関与	1	シート作成日	平成29年7月3日	
	部局名	市民部			課名	環境衛生課			主務課長名	森友 邦明			シート作成者名	正木 和磨			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業			☒ 3 経常的事務事業			☐ 5 補助金・負担金・支援			事業運営方法	☒ 1 直営			☐ 3 全部委託		
		☐ 2 ハード事業			☐ 4 施設の維持管理			☐ 6 内部管理事務・その他				☐ 2 一部委託			☐ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)			3. 美しい環境のまちづくり			実施計画			事業の開始・終了						
		基本計画(施策)			(1) 環境の保全と創造			☐ 1 該当			平成		年	～	平成	年	☒ 期間設定なし
		主要施策			(3) 公害等環境問題への適切な対応			☒ 2 非該当			根拠法令等		騒音・振動規制法、大気汚染防止法、県生活環境保全条例、水質汚濁防止法				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		事業所等からの各種届出の受理、経由事務及び連絡調整													
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	徳島県生活環境保全条例等の関係法令に基づき阿波市の環境保全に努めます。												
				今年度	徳島県生活環境保全条例等の関係法令に基づき阿波市の環境保全に努めます。												
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)																
	① 事業所からの各種届の受付																
	② 関係機関への連絡調整																
	③ 地元から苦情が出れば事業所への調査・指導																
	④ 経由事務[事務所～阿波市～県(保健所)]																
	⑤																
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標							
	届出件数				件	目標											
						実績	31	35									
						目標											
						実績											
						目標											
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4	衛生費	項	2	清掃費	目	1	清掃総務費			
			平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考								
	直接事業費	国庫支出金			千円			千円			千円						
		県支出金			千円			千円			千円						
		地方債			千円			千円			千円						
		その他特定財源			千円			千円			千円						
		一般財源			千円			千円			千円						
		計(A)	0		千円	0		千円	0		千円						
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.100 人	581	千円	0.100 人	582	千円	0.100 人	593	千円						
		臨時・嘱託職種															
		臨時・嘱託工数・経費	人	0	千円	人	0	千円	人	0	千円						
	全体事業費(A+B)		581		千円	582		千円	593		千円						

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	安全で安心な町づくり及び自然環境を守るため必要な事業です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	生活環境が豊かになり個人の尊厳が問われる時代であるからこそ、施設の把握、近隣住民とのトラブルの防止のため有効です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☒ いえない	☐ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	事業所からの届出のため目標設定は出来ません。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☒ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	届出により現場確認を行うため、効率性は悪いです。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☐ できる	☒ できない		☐ できる	☒ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		4	3	4	4	A	4	4	4	4	A
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	届出書の内容について法律の遵守確認に手間を必要とします。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	関係機関と連携して簡素化を検討します。					事業所からの届出内容の審査を厳格に行い、適正な指導に努めて下さい。				
委員会指摘事項											

PLAN	No.	8	—	17	基本事務事業名	環境基本条例(開発行為の計画届出等)に関する事務		事務事業名	環境基本条例(開発行為の計画届出等)に関する事務		公的関与	1	シート作成日	平成29年7月3日		
	部局名	市民部			課名	環境衛生課		主務課長名	森友 邦明		シート作成者名	野上 芳幸				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☒ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託					
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(1)環境の保全と創造				☒ 1 該当		平成 29 年 ~ 平成 39 年		☐ 期間設定なし				
		主要施策		(1)地域環境総合計画(環境基本計画)の策定				☐ 2 非該当		根拠法令等		地球温暖化対策の推進に関する法律 第20条の3				
	事業の対象・目的	対象(誰を、何を)		開発行為を行う事業者が開発計画書により届出を行い、環境保全に努める。												
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	住み良い街造りを推進するため、緑豊かな恵まれた自然環境や生活環境を守り、現在及び未来に亘り自然と調和した健康で夢と希望と活力のある街造りを推進します。											
				今年度												
事業の活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 開発計画の協議															
	② 計画書の受付															
	③ 環境審議会の開催															
	④															
	⑤															
数値目標 (事業の目的及び活動内容の達成度を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標						
			届出に対する事務事業のため、目標設定はなじまない。			目標				6435						
						実績										
						目標										
						実績										
						目標										
DO	予算費目	会 計			款		4	衛生費	項		2	清掃費	目		1	清掃総務費
			平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考							
	直接事業費	国庫支出金			千円		千円		千円							
		県支出金			千円		千円		千円							
		地方債			千円		千円		千円							
		その他特定財源			千円		千円		千円							
		一般財源			千円		千円		4,917 千円							
		計(A)	0 千円			0 千円		4,917 千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.500 人	2,905 千円		0.500 人	2,910 千円		0.500 人	2,965 千円						
		臨時・嘱託職種														
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円		0.000 人	0 千円						
	全体事業費(A+B)		2,905 千円			2,910 千円		7,882 千円								

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	市の環境保全のため必要性は高い。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☒ ない	☐ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	無秩序な開発の規制に有効です。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☒ いえない	☐ いえる		☒ いえない	☐ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☒ する	☐ しない		☒ する	☐ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	地域環境総合計画の策定により達成度を高めます。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☐ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☒ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	総合計画の策定等効率性は低いですが、自然環境及び生活環境の保全に努め、市民の意識向上、自主活動の助長に努めます。	☐ 高い	☒ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒ できる	☐ できない		☒ できる	☐ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	一次評価					二次評価					
	評価点	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		3	2	3	3	C	4	2	4	3	C
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	本条例の目的を総合的、計画的に推進するため、地域環境総合計画(環境基本計画)の策定が課題です。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	全市的な環境保全の指針に基づき、開発行為の中身について審査、整合性が図れるよう、環境基本計画の早期策定に努めます。					自然環境や生活環境を守るため、本条例に基づく開発の制限は有効な施策です。適正な運用を図ってください。				
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	18	基本事務事業名	阿波市污水处理構想業務		事務事業名	阿波市污水处理検討委員会事務		公的関与	1	シート作成日	平成29年7月7日		
	部局名	市民部			課名	環境衛生課		主務課長名	森友 邦明		シート作成者名	古谷 昌寛				
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託					
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☒ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等					
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了						
		基本計画(施策)		(3)下水道の整備				☒ 1 該当		平成 年 ~ 平成 年		☒ 期間設定なし				
		主要施策		(2)下水道事業の計画的推進				☐ 2 非該当		根拠法令等		浄化槽法、下水道法、水濁法、瀬戸内法				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		市内全域												
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	污水处理人口の普及率向上											
				今年度	整備率を上げるための施策を考えていく。											
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)															
	① 10年概成に向けての施策検討															
	② 農業集落排水事業特別会計の経営健全化															
	③															
	④															
	⑤															
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標						
	污水处理検討委員会の開催		開催回数		回	目標	3	3	3							
						実績	2	0								
						目標										
						実績										
						目標										
DO	予算費目	会 計	一般会計			款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	5	環境衛生費		
			平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考							
	直接事業費	国庫支出金	千円		千円		千円									
		県支出金	千円		千円		千円									
		地方債	千円		千円		千円									
		その他特定財源	千円		千円		千円									
		一般財源	2,662 千円		0 千円		0 千円									
		計(A)	2,662 千円		0 千円		0 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	1.000 人	5,809 千円	0.160 人	931 千円	0.160 人	949 千円								
		臨時・嘱託職種														
		臨時・嘱託工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円								
	全体事業費(A+B)		8,471 千円		931 千円		949 千円									

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
必要性	1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	行政の責務として、水環境を保全しなければなりません。	☐ 少ない	☒ 大きい				
	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☒ ある	☐ ない		☐ ある	☒ ない				
	4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
有効性	1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	生活排水処理対策は、行政の重要施策であります。	☐ いえない	☒ いえる				
	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
	4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
達成度	1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	☒ あまり上がっていない	誰もが思う住みよいまちづくりを目指します。	☐ 目標に比べて劣っている	☒ 概ね達成している				
	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☒ 概ね達成している			☐ あまり上がっていない					
	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している			☒ 十分達成している					
	4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。									
効率性	1.	効果に比べてコストが高い。	☐ 高い	☒ 適当	阿波市では、汚水処理施設の主な整備内容が合併処理浄化槽であるため、少なからず個人に負担を求めているかなければなりません。そこで動機付けも含めた新たな補助施策の検討も必要と考えます。	☒ 高い	☐ 適当				
	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒ できる	☐ できない		☐ できる	☒ できない				
	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☒ ある	☐ ない		☒ ある	☐ ない				
	4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		3	4	2	2	B	4	4	3	2	B
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	国・県が推進する市設置型浄化槽整備事業については、中長期的な財源の確保が必要となります。				二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点					
	改革案と実行計画	住民の理解失くしては進めることが困難となるため、シミュレーションを重ねながら実現可能なものとする必要があります。				生活排水処理対策には多額の経費を要しますが、市の責務として行政が積極的に進めていかなければなりません。					
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	19	基本事務事業名	農業集落排水事業管理・徴収	事務事業名	農業集落排水事業管理・徴収	公的関与	6	シート作成日	平成29年7月3日	
	部局名	市民部			課名	環境衛生課		主務課長名	森友 邦明		シート作成者名	尾崎 啓蔵	
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☐ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☒ 1 直営		☐ 3 全部委託		
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☒ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☐ 4 補助等		
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了			
		基本計画(施策)		(3) 下水道の整備				☒ 1 該当		平成 17 年 ~ 平成 年		☐ 期間設定なし	
		主要施策		(3) 下水道施設の適正管理				☐ 2 非該当		根拠法令等		農業集落排水施設設置及び管理に関する条例	
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		農業集落排水供用区域(一条西地区・柿原東地区)・農業集落排水施設利用者									
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	農業集落排水使用料の100%を目指します。								
				今年度	使用料滞納者に対して督促、徴収を行い未収納額を減らします。								
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)												
	① 余剰汚泥の引き抜きを削減に努めます。												
	② 口座振替の普及を促進します。												
	③ 督促状、催告書による通知で納付を促すとともに、各戸に訪問し徴収率の向上に努めます。												
	④												
	⑤												
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標			
	農業集落排水施設利用者	農業集落排水施設使用料 収納率(現年度)		%	目標	100	100	100	100				
					実績	98.6	98.4						
	農業集落排水施設利用者	農業集落排水施設使用料 収納率(過年度)		%	目標	100	100	100	100				
					実績	22	25.3						
				%	目標								
					実績								
	DO	予算費目	会 計	農業集落排水事業特別会計			款	2 事業費		項	1 施設管理費		目
		平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考					
直接事業費		国庫支出金	千円		千円		千円						
		県支出金	千円		千円		千円						
		地方債	千円		千円		千円						
		その他特定財源	千円		千円		千円						
		一般財源	38,683 千円		30,961 千円		37,732 千円						
		計(A)	38,683 千円		30,961 千円		37,732 千円						
人件費(B)		正職員工数・経費	0.700 人	4,066 千円	0.700 人	4,073 千円	0.700 人	4,151 千円					
		臨時・嘱託職種											
		臨時・嘱託工数・経費	人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円					
全体事業費(A+B)		42,749 千円		35,034 千円		41,883 千円							

阿波市全庁評価シート 平成28年度実施事業対象

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
必要性	1.	市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	施設の維持管理者と汚泥引き取り業者が同一業者であるため、余分な汚泥の抜き取りがないか確認しています。 施設の管理運営費に分担金と使用料を充てているため、使用料を徴収することは必要です。	☐ 少ない	☒ 大きい				
	2.	厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
	3.	住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☒ ある	☐ ない		☒ ある	☐ ない				
	4.	住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
有効性	1.	施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	口座振替を推奨しており、現在9割以上の方が口座振替で使用料を支払っているため、収納率95%以上を保っています。	☐ いえない	☒ いえる				
	2.	事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
	3.	市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
	4.	事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
達成度	1.	目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	余剰汚泥の経費の削減に努めています。更に、単価や回数を減らしコスト削減を考えています。 現年度は、収納率が目標に近づいています。過年度については、高額滞納者が多いので個別に対応策を考えています。	☐ 目標に比べて劣っている						
	2.	目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
	3.	目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☒ 概ね達成している						
	4.	目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☐ 十分達成している						
効率性	1.	効果に比べてコストが高い。	☒ 高い	☐ 適当	使用開始以降、使用料が同じで効果に比べコストは高くなっており、将来的には料金改定を含め視野にいれて考えております。 個別訪問徴収だけでは効率的に徴収できないので、施設の使用制限等の方法を用いて、収納率を向上させたいと考えています。	☒ 高い	☐ 適当				
	2.	他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒ できる	☐ できない		☒ できる	☐ できない				
	3.	予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
	4.	電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
		3	4	3	2	B	3	4	3	2	B
	今後の方向性	☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等		☐ 拡大・充実 ☐ 縮小	☒ 現状維持 ☐ 統合/終期設定	☐ 方法改善 ☐ 廃止/休止	☐ 民間委託等	
	当面の課題	機器類が老朽化して維持管理にコストがかかっており、随時更新が必要になります。 少額滞納者に対しては、督促状や催告書による通知で納めてもらえますが、高額滞納者に対しては、個別に対策を講じる必要があります。					二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点				
	改革案と実行計画	老朽化した機器類を保守点検で長持ちさせるとともに、大きな故障が発生する前に機器類を更新します。 あまりも滞納額が高額あるいは悪質な滞納者に対しては、施設使用の制限をかける等の方法を考える必要があります。 また、マンション等の賃貸物件については、共益費として管理会社に使用料を徴収してもらうようお願いしていきます。					滞納繰り越し分への収納率の向上が図られています。債権管理条例が施行され、不納欠損への対応は特に慎重お願いします。支払督促も検討されたい。				
委員会指摘事項											

阿波市全庁評価シート 平成28年度実施事業対象

PLAN	No.	8	—	20	基本事務事業名	農業集落排水事業工事	事務事業名	農業集落排水事業工事	公的関与	6	シート作成日	平成29年7月3日		
	部局名	市民部			課名	環境衛生課	主務課長名	森友 邦明		シート作成者名	尾崎 啓蔵			
	事業区分	☐ 1 ソフト事業		☐ 3 経常的事務事業		☒ 5 補助金・負担金・支援		事業運営方法	☐ 1 直営		☐ 3 全部委託			
		☐ 2 ハード事業		☐ 4 施設の維持管理		☐ 6 内部管理事務・その他			☐ 2 一部委託		☒ 4 補助等			
	総合計画	基本構想(政策)		3. 美しい環境のまちづくり				実施計画		事業の開始・終了				
		基本計画(施策)		(3) 下水道の整備				☒ 1 該当		平成 17 年 ~ 平成 年 ☐ 期間設定なし				
		主要施策		(3) 下水道施設の適正管理				☐ 2 非該当		根拠法令等 農業集落排水施設設置及び管理に関する条例				
	事業の 対象・目的	対象(誰を、何を)		農業集落排水供用区域(柿原東地区)										
		目的(どういう状態にしたいのか)		最終的	適切な施設管理を行いながら処理水の改善及び地震等への減災機能強化を図る。									
				今年度	管渠を再整備することにより不明水を低減し、処理施設への流入を安定させる。 また、施設から排水される汚泥の量を抑えながら、処理水の水質保全を行います。									
事業の 活動内容	具体的にどのような活動を行いますか。(主なもの5つまで)													
	① 管路改良、マンホール補修工事を実施し、不明水の低減に努めます。													
	② 施設の適正な施設管理を行い汚濁負荷量を安定させます。													
	③ 施設から排出される処理水の水質を安定させます。													
	④													
	⑤													
数値目標 (事業の目的 及び活動内容の達成度 を測る指標)	指標名		計算式又は指標設定理由		単位		平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	最終目標				
	BOD汚泥負荷		曝気槽の単位MLSS当たり、 1日に処理されるBOD量		kg/m³・ 日	目標	8	8	8	8				
							実績	11	17					
						目標								
							実績							
						目標								
							実績							
DO	予算費目	会 計	農業集落排水事業特別会計				款	2	事業費	項	1	施設管理費		
			平成 27 年度決算		平成 28 年度決算		平成 29 年度予算		備考					
	直接事業費	国庫支出金	千円		2,500 千円		11,000 千円							
		県支出金	千円		千円		千円							
		地方債	千円		2,200 千円		9,900 千円							
		その他特定財源	千円		千円		千円							
		一般財源	千円		300 千円		1,100 千円							
		計(A)	0 千円		5,000 千円		22,000 千円							
	人件費(B)	正職員工数・経費	人	0 千円	0.500 人	2,910 千円	0.500 人	2,965 千円						
		臨時・嘱託職種												
臨時・嘱託工数・経費		人	0 千円	人	0 千円	人	0 千円							
全体事業費(A+B)		0 千円		7,910 千円		24,965 千円								

CHECK		チェック項目	一次評価		一次評価の説明	二次評価					
CHECK	必要性	1. 市が実施しなくても、公平性・公正性が確保できる等、他の実施主体があり、事業を廃止・休止しても影響は大きくない。	☐ 少ない	☒ 大きい	管渠や施設が老朽化しており不明水の流入が増えてきている為、ポンプや機器類等に負担がかかっており更新が必要である。	☐ 少ない	☒ 大きい				
		2. 厳しい財政状況の中、次年度以降実施する緊急性が認められない。	☐ ない	☒ ある		☐ ない	☒ ある				
		3. 住民満足度の向上のために、現在の手段、方法等の改善の余地がある。	☒ ある	☐ ない		☒ ある	☐ ない				
		4. 住民ニーズの低下がみられたり、近隣自治体と比較してニーズを上回るサービスとなっている。	☐ いる	☒ いない		☐ いる	☒ いない				
	有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。	☐ いえない	☒ いえる	汚泥と放流水を確認することで、汚泥の水分量、水質保全が来ています。	☐ いえない	☒ いえる				
		2. 事業内容のマンネリ化など、施策への貢献度が著しく高いとはいえない。	☐ いえない	☒ いえる		☐ いえない	☒ いえる				
		3. 市が実施する施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。	☐ する	☒ しない		☐ する	☒ しない				
		4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	☐ できない	☒ できる		☐ できない	☒ できる				
	達成度	1. 目標設定に対して進捗状況が劣っていると思う。	☐ 目標に比べて劣っている	BODの汚泥負荷は目標まで到達していませんが、安定はしています。また、水質はとても良い状態で環境に影響しないレベルを保っています。	☐ 目標に比べて劣っている						
		2. 目標設定に対して成果があまり上がっていないと思う。	☐ あまり上がっていない		☐ あまり上がっていない						
		3. 目標設定に対して概ね目標を達成していると思う。	☒ 概ね達成している		☒ 概ね達成している						
		4. 目標設定に対して十分に目標を達成していると思う。	☐ 十分達成している		☐ 十分達成している						
	効率性	1. 効果に比べてコストが高い。	☒ 高い	☐ 適当	処理水の適正に行っているが一条西処理施設より規模が小さいにも関わらず同じ効果で比べるコストは高くなっています。管路・施設を整備し流入を安定させ、水質の改善を図り、更に、水環境をよくすることを努めたいと考えています。	☒ 高い	☐ 適当				
		2. 他の実施主体のノウハウや新たな制度を活用できる。	☒ できる	☐ できない		☒ できる	☐ できない				
		3. 予算・人員と成果の関係で、実施手段等を見直す余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
		4. 電子化や契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	☐ ある	☒ ない		☐ ある	☒ ない				
ACTION	評価点	一次評価				二次評価					
		必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価
	今後の方向性	3	4	3	2	B	3	4	3	2	B
		☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等	☐ 拡大・充実	☒ 現状維持	☐ 方法改善	☐ 民間委託等		
	当面の課題	☐ 縮小	☐ 統合/終期設定	☐ 廃止/休止	二次評価での指摘事項及び一次評価との相違点						
		機器類が複雑で維持管理にコストがかかっています。また、経年劣化等で機器類が老朽化しており随時更新が必要になります。				現在の加入率を比較すると、一条西地区の計画戸数に市営住宅戸数を加味している事を削除しても、柿原東地区よりも約14%低い値となっています。なお一層、未加入住宅の個別加入促進に努力してください。					
	改革案と実行計画	補助金や起債を活用して老朽化した管路や機器類等の更新を図り、地震等が起きても機能強化を図り減災に努めます。また、BOD値を目標達成できるように努めていきます。									
委員会指摘事項											